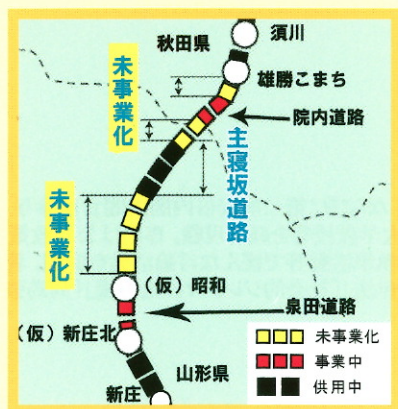


新庄・湯沢間早期実現フォーラム

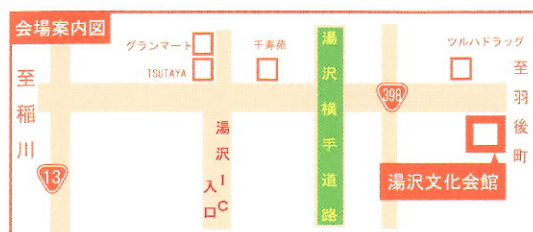


藤井 聡 氏

*** 入場無料 ***



財政出動・公共投資への“疑問”に、
政権ブレーンがわかりやすく答える



開催日

平成 26 年

時間 14時45分～17時00分

会場 湯沢文化会館



事務局：湯沢商工会議所

T012-0824

湯沢市佐竹町 4-2

TEL 0183-73-6111

開催目的

私達が安心安全で幸せに暮らすために、雇用を促進し地域経済を活性化するために、そして災害時に人命救助・支援物資運搬に寄与するために、今一度「道路の果たす役割と必要性」を確認し合います。そこで集約した市民の声を国や関係各所に届け、真に必要な道路の早期実現を目指すため、本会を開催いたします。

実施に至る背景

東北地方は食糧の自給率や世界の食糧危機が心配される今日、戦略的に重要な日本の食糧基地であり、ふるさと秋田もその中で重要な役割を担っております。しかしながら社会資本整備のアンバランスは、国内だけでなく東北においても地域格差を生じさせております。また当地域の産業、経済、文化の新たな発展と魅力ある定住社会の創造のためには、他地域との連携が極めて重要です。さらに高規格道路は住民の生活と安全に非常に重要な役割を担う社会資本でもあります。そして東日本大震災や岩手・宮城内陸地震では、不通になった国道に代わり高規格道路が威力を発揮したように、災害時の危機管理上においても重要である事は言うまでもありません。

東北中央自動車道は秋田自動車道、東北自動車道をはじめ、他の自動車道との接続により一体感のある多軸型国土形成がなされます。これにより医療、福祉等生活の安全は言うに及ばず、観光産業の発展、物流の活性化、地場産業の発展が図られ、起業や多様な雇用による若者の定住化促進も図られます。そのためにも高規格道路整備は不可欠であります。

昨年度、秋田・山形県境部の事業未着手区間も地道な陳情活動が功を奏し、計画段階評価の手続きに入りました。全線新設早期開通に向け、さらに地域を挙げ国や関係機関に働きかけを行ってゆかなければならないと考えております。この度は、単なる地方の道路整備ではなく我国発展のための基礎的地域整備である事を私達地域の住民がさらに認識を新たにし、その思いを集約し、大きな波を起こし広げ、各方面に訴えるべく本会の開催に至りました。

プログラム

- 14:45 開 会
主催者代表挨拶
来賓ご挨拶
- 15:15 基調講演
講師 京都大学教授 藤井 聡 氏
テーマ「日本強靱化構想」
- 16:25 道路に関する意見発表等
- 17:00 閉 会

プロフィール

藤井 聡 氏 (ふじい さとし)

京都大学大学院工学研究科(都市社会工学)教授、京都大学レジリエンス研究ユニット長、ならびに第二次安倍内閣内閣官房参与(防災減災ニューディール担当)。1968年生。京都大学卒業後、同大学助教授、東京工業大学教授等を経て現職。専門は公共政策論および実践的人文社会科学研究。文部科学大臣表彰等受賞多数。各種メディア等での執筆活動等で盛んな言論活動を展開。著書「巨大地震Xデー」「新幹線とナショナリズム」「レジリエンスジャパン」「プラグマティズムの作法」「社会的ジレンマの処方箋」「列島強靱化論」「土木計画学」等多数。表現者塾(西部邁塾長)出身